

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		都市農業改良普及協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	可徳 精至
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	上山 直美
	基本事業	32	関係機関との連携の強化			所属班	農業振興班	(内線)	1165
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	11
		1	6	1	5	10297		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	農業改良普及事業の目的を達成するため、振興局・市町・JA菊池等各関係機関と一体となって、重点普及計画に基づき、地域と連動しながら活力ある農業の実現を目指して、各種研修会、担いての育成、女性の社会参画支援等を実施。 本会は、菊池地域市町、JA菊池等で構成され、関係機関一体となり普及計画に基づき活力ある農業の実現を目指す組織 平成21年度途中から名称が菊池地域農業活性化協議会に名称変更のため、従って、事務事業名も平成22年度から新規事務事業「菊池地域農業活性化協議会参画事業」となる。 農業後継者が育っている。
【業務の流れ】	総会及び研修会への参加、負担金の支払い事務
【主な予算費目】	負担金及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	農業女性の活動支援、指導農業士の研修、4Hクラブ支援等により、組織の重要性が認知されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
総会及び研修会への参加、負担金の支払い事務	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア:総会・研修会への参加回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
職員	ア:担当職員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
菊池地域農業の広域的な情報を入手することができる	⇒ア:有効な参考情報を入手できた職員の割合 %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
県下統一的な情報の収集(補助事業や農業情勢など)や農家への技術情報を職員が入手し、農家へ周知する。または品評会等への出品等ができることで、経営意欲向上につながる。結果、市農業の振興にもつながる。 平成22年度根拠も同様。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 回		2	2	2	2			
⑤ 対象指標	ア 人		3	3	3	3			
⑥ 成果指標	ア %		100	100	100	100			
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	18	18	18	18		
	(A) 事業費計	千円	18	18	18	18	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	7		
延べ業務時間		時間	12	18	18	13			
(B)人件費計		千円	48	72	72	52	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	66	90	90	70	0	0	0

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	郡市農業改良普及協議会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 平成22年度から新規事務事業「菊池地域農業活性化協議会参画事業」となる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 負担金は、農家戸数、経営耕地面積等で算出されており、市として関与できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 農業における情報等を職員が入手できるため公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 負担金支払い事務や構成団体も行政が含まれるため、行政対応しかできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度は、振興局・市町・JA菊池等各関係機関と一体となって、重点普及計画に基づき、地域と連動しながら活力ある農業の実現を目指して、各種研修会、担い手の育成、女性の社会参画支援等を実施。
平成22年度から新規事務事業「菊池地域農業活性化協議会参画事業」となる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策